

## 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）患者の発生について（市内2例目）

令和8年9月10日（木曜日）、豊橋市内の医療機関から豊橋市保健所に重症熱性血小板減少症候群（以下「SFTS」という）の発生届が提出されました。豊橋市内でのSFTS患者の発生は2例目で、愛知県内では今年10例目です。

SFTSは、主にSFTSウイルスを保有するマダニ（※）に咬まれることで感染します。マダニの活動が盛んな春から秋にかけては、マダニに咬まれる危険性が高まるため特に注意が必要です。

※マダニは、食品や衣類などに発生するダニとは全く種類が異なります。

### 1 患者概要

- |          |                                        |
|----------|----------------------------------------|
| （1）患者    | 50歳代男性                                 |
| （2）主な症状  | 発熱、意識障害、血小板減少、白血球減少、肝機能障害、腎機能障害、リンパ節腫脹 |
| （3）現在の状況 | 医療機関入院加療中                              |
| （4）その他   | 日常的に土木作業での森・山への行動歴あり                   |

### 2 判明までの経過

- |            |                        |
|------------|------------------------|
| 9月4日（金曜日）  | 全身倦怠感、発熱<br>市内医療機関A受診  |
| 9月7日（月曜日）  | 意識障害出現<br>市内医療機関B受診、入院 |
| 9月9日（水曜日）  | 保健所から愛知県衛生研究所へ検査依頼     |
| 9月10日（木曜日） | 検査結果が陽性と判明             |

※マダニの咬傷跡と思われる痂皮（かさぶた）があり、9月8日（火曜日）に発生した1例目の患者との関連性はないと考えられます。

### 3 SFTSについて

主な初期症状は発熱、全身倦怠感等で、重症化し、死亡することもあります。多くの場合、ウイルスを保有するマダニに刺されて感染します。また、SFTSウイルスに感染した猫や犬との接触により感染したと考えられる症例も報告されています。患者の体液との接触による人から人への感染も報告があります。

## 4 予防方法

### (1) マダニについて

#### ① マダニに咬まれないために

- ・草むらや藪などに入る場合は、肌の露出を少なくしましょう（長袖・長ズボンを着用する、足を完全に覆う靴を履く）
- ・虫除け剤を適切に使用しましょう。
- ・屋外活動後は入浴し、ダニに咬まれていないか確認しましょう。

#### ② マダニに咬まれた場合

- ・マダニに咬まれているのを見つけたときは、できる限り直接手でダニを取ったりつぶしたりせず、皮膚科などの医療機関で処置を受けるようにしてください。（無理に引き抜こうとすると、ダニの一部が皮膚内に残ってしまう場合があります。）
- ・マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は、すぐに医療機関を受診しましょう。

### (2) その他

- ・SFTS ウイルスに感染し、発症している動物の血液や唾液などの体液に直接触れた場合、SFTS ウイルスに感染する可能性があります。
- ・野生動物は、どのような病原体を保有しているか分かりません。野生動物との接触は避けてください。動物に触ったら必ず手を洗いましょう。また、動物の死体等に接触することは控えましょう。

問合先 豊橋市保健所 保健医療企画課 主幹 山本（電話 0532-39-9104）



# 「ダニ」による感染症に注意！！

**ダニ**（マダニ類・ツツガムシ類）は草むらややぶ、畑などに多く生息しています。

農作業や草刈り、山中での作業では、ダニに咬まれないように注意しましょう。

**つつが虫病**は春から初夏および秋から初冬にかけて、**日本紅斑熱**は7月～9月に多くみられています。近年増加している**重症熱性血小板減少症候群（SFTS）**は5月～10月に発生が多くみられます。



## ダニに刺されないポイント

- 肌の露出を少なくする
- 明るい色の服を着る
- 虫除け剤を使用する



野外活動後は入浴し、ダニに刺されていないか確認しましょう。特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部（髪の毛の中）などに注意しましょう。

## ダニ媒介感染症 厚生労働省

※各地域のダニ媒介感染症の状況については各自治体HPも参考にしてください。



## ダニに刺されたときの対処法

- 無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科など）で処置（ダニの抜去、洗浄など）をしてもらいましょう。
- ダニに刺された後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けてください。

## 受診時に伝えること

- ①ダニに刺されたこと
- ②野外活動の日付
- ③場所
- ④発症前の行動

【重症熱性血小板減少症候群（SFTS）：厚生労働省 から一部抜粋】

豊橋市保健所 保健医療企画課 電話0532-39-9104

ダニによる感染症に注意しましょう！  
（豊橋市ホームページ）

